

11月3日（金）

本日は新人戦グループリーグ初戦 vs 横浜翠嵐。

選手権2次予選へ出場するなど県内トップの学力だけでなく、文武両道を地で行く強豪との対戦となりました。

立ち上がりは緊張も多く、動き・出足ともに相手に上回られる展開。

アクシデンタルな形から失点し、前半を0-1で折り返します。

中々動かないゲーム状況の中、膠着状態を打破すべく、交代選手を投入。

すると、後半の半ば過ぎ、こぼれたボールを押し込み同点に追い付きます。

更に畳み掛けようとフレッシュな選手をピッチへ。

するとゴール前でFKを獲得。

蹴られたボールが直接ゴールへ吸い込まれ逆転に成功します。

ゴールが決まった直後、終了のホイッスル。

正にドラマのような展開に一同啞然&沸きに沸きました。

自分達が上手くないゲーム状況を粘り強く戦い、最後にひっくり返す強かさ。

初戦という重圧の中で選手達は素晴らしい戦いを観せてくれました。

試合の合間、そして最後のミーティングでは新人戦残り2戦に向け、個人を、そしてチームをどうして行きたいのか、どうすることが大切なのかについて話を。

緊張する展開は小・中学校と人生を過ごしてきた中で多々あったはず。

その中で自分が普段観せているパフォーマンスを発揮する為に準備を、想定(イメージ)をどれだけの時間を掛けてしてきたか。

averageでそのパフォーマンスを発揮する為にはそれ相応の練習・イメージの時間を取らなければと考えます。

社会に出てもfootballのこの思考はイコール。

重要な案件を成功裏に終わらせる為には相当な時間・心配り・気遣い・根回しが必要です。

footballにも心配り・気遣い・根回しは重要。

初戦の勝利の中に成長に必要なpieceが沢山ありました。

『footballは大人を紳士にする』

gentlemanへの道を一步一步、着実に。

次に向けて精進します(深礼)

